



花が咲く!

芽が出て、葉が出て、



第3学年

修学旅行～1日目～



1日目の流れ

東京駅→京都駅→奈良駅→西ノ京駅→薬師寺→おやつタイム→法隆寺→宿舎（夜）にぎり墨

修学旅行 振り返りクイズ

- 第1問
集合写真の場所はどこ？
- 第2問
「らほつ饅頭」の味は何種類？
- 第3問
宮原さんの隣にいるのはせんとかん、
では山田さんの隣にいるのは？
- 第4問
お坊さんの話を聞いたのはどこでか？
- 第5問
にぎり墨の保管方法と注意点は？



修学旅行 作文よ

「修学旅行」は楽しくみんなで行ってくるものと思っていた。しかしそれは「ただの旅

旅行」で学びを深める大切さを座禅を通して知った。
修学旅行一日目は奈良を巡ったが、新幹線に乗っているときからずっと友達と話していた。歩いている時も寺院を見ている時も。普通に楽しく過ごしていたが、何かが欠けていると心の中で思っていた。

(中略) 疲れながら到着した建仁寺では座禅を体験するためお坊さんが待っていた。フラフラと並んだが急に怒声が聞こえた。「ここに何しに来たんだ！」あたりが緊張に見舞われた。そんな中始まった座禅だった。座禅とは、心、体、姿勢を無にするものと言われたが、案外できない。しかし、座禅中に様々なことが頭に浮かんだ。例えば、今の自分で本当に良いのだろうか。自分の役割をきちんと果たしているのだろうか、自分は人からどう見られているのかなど、主に自分について考える時間となった。座禅も終わり、お坊さんが話し始めた。(中略) 状況や自分の気持ち次第で物の捉え方が違うということにとても共感できた。だがそれでいいのだろうか。提出物を今ではなく、明日やろう、などが例になるだろう。そんな時が時々ある。しかし後でやろうとすると苦しくなるのは目に見えている。だからこれから改善しようと思った。この時初めて良い学びがある旅行になった。

座禅を通して自分について理解し改善すべきところも見えた気がした。しかしあまりに改善点が多いことが一番の発見だった。中学校生活残り九か月ある。たくさんある改善点を一日一個ずつ直したら間に合うだろう。建仁寺のお坊さんはこんなことも言っていた。「毎日すべきことを行えば毎日良い日になる。」

このように毎日をどのように生きるかが、一番大事なことだと気づいた。今も大事な毎日は刻々と過ぎていく。毎日良い日を目指し中学校生活を過ごしていきたい。

進路7

高等学校などでは、学校説明会や個別相談会などが始まっています。教室前の廊下の壁に、文林中へ送られてきたポスターやパンフレットを掲示しています。どのような学校があるのかを知ることが大切です。機会がありましたら、ご覧になってください。

来週の予定

日	曜日	1	2	3	4	5	6	予定	給食
24	月	学	音	家	体	社	国	朝礼	○
25	火	体	理	数	国	社	理	質問教室終	○
26	水	数	社	体	/	/	/	第1回定期考査 安全指導日	×
27	木	国	理	音	/	/	/	第1回定期考査	×
28	金	英	藝	美	社	総	委	①~③第1回定期考査 ⑥一斉委員会	○